☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

丹波新聞　平成２９年８月２４日（木）

「造り物」手伝う

「うちわ一式」で手塚治虫の「火の鳥」を制作した関西大学の成松愛宕祭り「造り物」。氷上西高の安達愛香（まなか）さん＝写真左＝と釜口桃果さん（共に3年）が、ボランティアで作業を手伝った。うちわの持ち手の穴に、別のうちわの持ち手部分を通してうちわを組んでいった。

2年ぶりの参加の安達さんは「やり甲斐がある」、初参加の釜口さんは「作業は暑い。造り物を見るのは楽しい」と笑顔だった。

今年の干支、60年に1度の「丁酉（ひのとり）」にちなんだ作品。